

京都第一赤十字病院で肝癌の治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

動注療法・分子標的薬治療を受けた肝癌患者の臨床実態についてのご協力をお願い

今回、京都第一赤十字病院は、動注療法・分子標的薬治療を受けた肝癌患者の臨床背景・経過について検討します。そのため、肝癌治療で動注療法・分子標的薬治療を受けられた方の診療録を調査をさせていただきたいと考えています。

研究の目的

局所進行肝癌の治療法として肝動注療法、肝癌治療で有効な全身化学療法として、現在分子標的薬（ソラフェニブ、レゴラフェニブ、レンバチニブ）が用いられています。しかし動注療法は手技が煩雑であること、分子標的薬は副作用や肝予備能が保たれている人に投薬が限られるため実臨床における適切な導入のタイミング、長期的な効果などまだまだ不明な点も多いです。今回、我々は当院の症例を集積して、肝癌治療における動注療法・分子標的薬治療の長期的な経過について検討する研究をすることとしました。

研究の方法

・対象について

2000年1月1日から、2019年3月31日まで京都第一赤十字病院消化器内科で肝癌に対して動注療法分子標的薬治療を受けた患者様

・方法について

過去の診療録、あるいは実臨床の診療情報を収集して、動注療法・分子標的薬の効果や経過を統計学的に分析します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。また、ご連絡いただけますと、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。

連絡先

京都第一赤十字病院 消化器内科

氏名 木村 浩之、藤井秀樹、西村健

電話：075-561-1121(代表)